

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員に求められる情報処理・外国語・スポーツ科学の基礎的知識及び技能を修得する</li> <li>・教育者としての幅広い教養を修得する</li> <li>・家庭科教員に求められる家庭経営学、被服学、食物学の知識を修得する</li> </ul>
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職をめぐる組織・制度・環境等について理解し、求められる教員の資質・能力を具体的に考えることができる</li> <li>・教員に求められる憲法・外国語・スポーツ科学の基礎的知識及び技能を修得する</li> <li>・教育者としての幅広い教養を修得する</li> <li>・家庭科教員に求められる食物学、住居学の知識と技能を修得する</li> </ul>
2年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の発達について理解し、教員の立場から見た子どもの行動を考えることができる</li> <li>・教員として有効な学習方法について理解する</li> <li>・学習心理学や認知心理学を手掛かりとして、学習指導要領に掲げられた目標を達成する手だてとなる教育方法や技術について修得する</li> <li>・人の学習・記憶・認知の仕組みや働きを理解し、それらを踏まえた学習指導法や学習指導上の留意点を考えることができる</li> <li>・学習者の個人差を理解し、個性に応じた多様な学習指導の在り方について考えることができる</li> <li>・情報環境、情報機器を効果的に学習指導に活用していくための方法や類移転について理解できる</li> <li>・家庭科教員に求められる家庭経営学、被服学、食物学の知識と技能を修得する</li> </ul>
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の本質を、現代が抱える問題あるいは、現代の先端学問から透視し、そのビジョンから教育のあるべき姿、教員の果たすべき役割を考えることができる</li> <li>・教育者としての幅広い教養を修得する</li> <li>・家庭科教員に求められる食物学、住居学の知識と技能を修得する</li> </ul>
3年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的観点から、教育の変容について考えることができる</li> <li>・教員の実践的力量的中核となるカリキュラムの開発や教材の活用、教育の方法と技術、児童生徒理解と教育の評価に関する知識と技術について修得する</li> <li>・生徒指導及び進路指導の観点から児童・生徒に対応する必要性を理解し、その知識と技術を修得する</li> <li>・生徒の心理的理解や心理的問題への対応方法を修得する</li> <li>・家庭科教員に必要な家庭科教育観を確立するとともに、指導法を修得する</li> <li>・環境教育、福祉教育、消費者教育、食農教育など現代の教育課題と家庭科教育との関係を理論的に整理できる。</li> <li>・家庭科教員に求められる家庭経営学、食物学の知識と技能を修得する</li> </ul>
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育学に関する幅広い教養を修得する</li> <li>・特別活動の課題と方法について理解できる</li> <li>・教育者としての幅広い教養を修得する</li> <li>・家庭科教員に必要な家庭科教育観を確立するとともに、指導法を修得する</li> </ul>
4年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習をとおして、それまでの学修を振り返る、教員としての適性について判断できる</li> <li>・教育学に関する幅広い教養を修得する</li> </ul>
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職実践演習をとおして、教員としての自己の強みと弱みを理解できる</li> <li>・教員になる上で、自己にとっての課題を自覚し、不足している知識や技能を修得する</li> </ul>